



活躍を誓う八戸学院光星高の野球部員や関係者ら  
19日、青森県庁

# 「一戦必勝で全国制覇」

センバツ 出場 光星野球部、知事に抱負

第98回選抜高校野球大会 決めた八戸学院光星高の野球部員らが19日、青森県庁に2年ぶり12回目の出場を

を訪れ、宮下宗一郎知事に

「一戦必勝で全国制覇を目指す。青森の野球レベルの高さを全国の舞台で証明したい」と活躍を誓った。同校は昨秋の県大会で優勝、東北大会では準優勝を飾った。

この日はエースで主将の北口晃大選手ら部員3人が中村良寛校長、仲井宗基監督らと共に訪問。北口選手は「投打で活躍して全国制覇に導く」、捕手の和田陽音選手(東北町出身)も「自分たちの持てる全ての力を

出し切る」と抱負を述べた。仲井監督は「青森、東北の代表として、恥ずかしくないゲームをする」と気を引き締めた。

これに対し、宮下知事は「一戦必勝のキャッチフレーズのもと、のびのび、堂々と戦い抜いていただきたい」とエールを送った。組み合わせ抽選会は3月6日に行われる。

(後村歩稀)